

# 背が低いからこそ、大胆に遊んでしまいます。 組合せが自在なハーフムーンの服は愛用ブランド。 高野てるみさん

たかのてるみ(株)T・P・O、(株)巴里映画代表取締役プロデューサー

高野さんは身長148cm。

若い頃はそれなりに悩みました。

「今よりもっと कोरोコロしていきまし  
し、やっぱり異性の目が気になる年代  
でしょ」

当時のファッション・ステイタスは  
ROPE。細身でスタイルを強調する  
デザインが主流でした。



「フティックに行く前は3食抜いたり  
して、そりやもう必死。気おくれして  
お店のドアを開けられなかった、なん  
てことも」(笑)

けれど、若い頃からお洒落には人  
倍関心があった高野さん、少々な事には  
くじけません。欠点があるからこそ、  
より良く見せるための努力をいとわず  
に、の精神で、ある時から度胸を決め  
ました。

「仕方ない。頑張るしかない！ 自分  
のためのお洒落を楽しもうって」

大きくなって好きな服なら思い切っ  
て着てしまいます。丈が長ければ、べ

「普通の人を着ればきつとミニ」のワンピース(ハーフムーン)。上半身にボリュームを出して、全体のバランスをとります。



ングしたり、あの手この手で上手にご  
まかします。で、それがまた楽しい。  
「これ、普通の人を着たらきつとミニ  
よね」  
というグリーンのワンピースも、全  
く違和感なく見えるから不思議です。

「要は全体のバランスだと思おう。ワン  
ピース一枚だと上半身が貧弱になるの  
で、下にセーターを重ね着します。頭  
はなるべく小さくまとめ、帽子で変

年とともに下半身ばかりが大きくなる。  
ヒップに合わせる丈が長すぎたり……  
パンツやスカートには苦労しました。

